

海外ビジネス研修に協力!

昨年に引き続き、諏訪東京理科大学（長野県）から、同大学の海外ビジネス研修生受入申出があり、アイム・ジャパンは同大学の「地域の窓から世界を望む」のスローガンに賛同し協力しました。

「地域の窓から」は、これまで中心となっていた大学内での閉じた学習スタイルから、授業で学習した知識をベースに、地域課題を題材としてプロジェクトベースの学習により実践力を高める教育を重視するという意味が込められており、「世界を望む」とは、地域にあっても世界視野でものごとを見ることは不可避であることから、地域社会に根ざしつつもグローバルな視点でグローバルに活躍できる人材育成に取り組むことを意図しています。

8月末から、アイム・ジャパン現地訓練校のシーベスト訓練校（インドネシア）において4名、パトゥムタニ訓練校（タイ）において5名の学生が日本語教育アシスタントとしての業務研修を受けました。

（短期は約1週間、長期は約2ヶ月）

参加動機は様々でしたが、「文化の交流をしたい」「視野を広げたい」という意見が多くみられました。日本語教育アシスタント業務のほか、日本語劇を実習生とともに作ったり、プレゼンテーションをお互いが行ったりと、充実した時を過ごした学生達は一回り大きくなって帰国をしました。「学習姿勢を見直したい」「今後の人生に大きく影響すると思えるような研修だった」「このような貴重な研修の場を設けていただいた柳澤会長に心より感謝申し上げます」といった、お礼状を全学生から頂戴しました。皆様の今後のご活躍を楽しみにしています！



シーベスト訓練校にて



パトゥムタニ訓練校にて